

木津川市子育て支援に関するアンケート調査

小学生の保護者対象

【最初にお読みください】

1. 調査票の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。また、その他をお選びいただいた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
3. 設問は全部で45問です。お時間をいただきますが、全ての設問にご回答をお願いします。
4. ご記入いただいた調査票は、切手を貼らずに同封の封筒に入れて、●月●日（水）までに郵便ポストへご投函ください。

調査票を受け取ったお子さんとご家族の状況についておうかがいします。

問1 お子さんとご家族などの様子やお住まいの小学校区をお答えください。

(1) お子さんの学年をお答えください。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生 | 5. 5年生 | 6. 6年生 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|

(2) 生計を共にしているご家族（世帯員）は、あなたを含めて全員で何人ですか。また、そのうちのお子さんの人数は何人ですか。（() 内に数字を記入）

(あなたを含めた) 世帯員の人数	() 人	うち 子どもの人数	() 人
------------------	-------	-----------	-------

(3) この調査にご回答いただく方はどなたですか。(1つだけ○)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | 5. 親戚 | 6. その他（具体的に） |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|

(4) (3) で「1. 母親」「2. 父親」に○をつけた方におうかがいします。調査票にご回答いただいたいる方の配偶関係についてお答えください。(1つだけ○)

- | | | |
|-----------|------------|-----------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない | 3. 事実婚である |
|-----------|------------|-----------|

(5) お子さんからみて、きょうだい以外の同居の家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 | 5. 親戚 | 6. その他（具体的に） |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|

(6) お子さんの母親、父親の年齢であてはまるものに○をつけてください。ひとり親の方は、母親または父親のみお答えください。(それぞれについて、1つだけ○)

母親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上
父親	1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳以上

(7) お子さんの祖父母は、30分以内程度に行き来できる範囲にお住まいですか。(どちらかに○)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 住んでいる（同居を含む） | 2. 住んでいない |
|-----------------|-----------|

(8) お子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つだけ○)

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 |
| 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他(具体的に |) |

(9) お住まいの小学校区はどこですか。(1つだけ○)

- | | | | |
|---------|--------|----------|--------|
| 1. 木津 | 2. 相楽 | 3. 高の原 | 4. 相楽台 |
| 5. 木津川台 | 6. 梅美台 | 7. 州見台 | 8. 城山台 |
| 9. 加茂 | 10. 恒仁 | 11. 南加茂台 | 12. 上狛 |
| 13. 棚倉 | | | |

(10) 生計を共にしているご家族全員の収入を合わせた「世帯の年間収入(税込み)」について、昨年(令和4年)はおよそいくらでしたか。(1つだけ○)

※収入には、働いて得た給料だけではなく、公的な援助手当、養育費、株式配当や副収入等も含んでください。

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| 1. 100万円未満 | 2. 100~200万円未満 | 3. 200~300万円未満 |
| 4. 300~400万円未満 | 5. 400~500万円未満 | 6. 500~600万円未満 |
| 7. 600~700万円未満 | 8. 700~800万円未満 | 9. 800~900万円未満 |
| 10. 900~1,000万円未満 | 11. 1,000万円以上 | 12. わからない |

(11) あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。

(それぞれについて、1つだけ○)

項目	全くない	何度かあった	頻繁にあった
1. 必要な食料が買えなかった	1	2	3
2. 必要な衣料が買えなかった	1	2	3
3. 電気・ガス・水道料金の滞納	1	2	3
4. 家賃や住宅ローンの滞納	1	2	3

お子さんの保護者の就労状況についておうかがいします。

※ひとり親の方は、母親または父親のみお答えください。

問2 お子さんのご両親の現在の就労状況(自営業、農業、家族従事者含む)は次の表のどれですか。また、1年後はどうになる予定かお答えください。変更のない場合は、現在と同じものを選んでください。
(それについて、1つだけ○)

(1) 母親

就労状況		現在	1年後
フルタイム 就労	産休・育休・介護休業中ではない	1	1
	産休・育休・介護休業中である	2	2
パートタイム 就労	産休・育休・ 介護休業中で はない	3	3
	就業時間:月当たり 120 時間以上	4	4
	就業時間:月当たり 64 時間以上 120 時間未満	5	5
	就業時間:月当たり 64 時間未満	6	6
	産休・育休・ 介護休業中で ある	7	7
	就業時間:月当たり 120 時間以上	8	8
就労していない		9	9

(2) 父親

就労状況		現在	1年後
フルタイム 就労	育休・介護休業中ではない	1	1
	育休・介護休業中である	2	2
パートタイム 就労	育休・介護休業中ではない	就業時間：月当たり 120 時間以上	3
		就業時間：月当たり 64 時間以上 120 時間未満	4
		就業時間：月当たり 64 時間未満	5
	育休・介護休業中である	就業時間：月当たり 120 時間以上	6
		就業時間：月当たり 64 時間以上 120 時間未満	7
		就業時間：月当たり 64 時間未満	8
就労していない		9	9

すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。

問3 仕事と子育てを両立する上で、大変だと感じることはどのようなことだと思いますか。(1つだけ○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 急な残業が入ってしまう | 2. 子どもが急病時の対応 |
| 3. 職場の理解が得られない | 4. 子どもと接する時間が少ない |
| 5. 特にない | |
| 6. その他（具体的に |) |

問4 子育てと仕事の両立支援として、職場にどのようなことを期待しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 日常的な残業や休日出勤をなくす・減らす |
| 2. 急な残業や休日出勤をなくす・減らす |
| 3. 子どもが病気やケガをしたときに休暇を取りやすい環境をつくる |
| 4. 育児休業制度・再雇用制度※等を整備するとともに、制度を利用しやすい環境をつくる |
| 5. 男性も育児休業制度を利用しやすくするなど、子育てに男性も参加できる環境をつくる |
| 6. 事業所内に保育施設を設置する |
| 7. 妊娠中や育児期間中の勤務を軽減する（フレックスタイム制度や短時間勤務制度※など） |
| 8. 子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めるための啓発を行う |
| 9. 特にない |
| 10. その他（具体的に |

)

※再雇用制度とは、企業等が就業規則の中で、結婚や出産、育児、介護などの理由で退職した方を再び元の職場で雇用する制度です。

※フレックスタイム制度・短時間勤務制度とは、育児・介護休業法で3歳未満の子どもを養育する労働者のために事業主が講ずるべき勤務時間短縮等の方法としてあげられている制度です。

- フレックスタイム制度は、労働者が自分のスケジュールに合わせて出勤・退勤時間を調整できる制度です（総労働時間は短くなりません）。
- 短時間勤務制度とは、労働時間や労働日数を短縮する制度です。

小学校の教育についておうかがいします。

問5 お子さんが小学校教育の場で身につけてほしいと思っているのはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 教科の基礎学力 | 2. 周りの人との関係をうまく作る力 |
| 3. 相手に自分の考えを伝える力 | 4. 運動能力や体力の向上 |
| 5. 芸術（音楽や美術）を楽しむこと | 6. 読書を楽しむ |
| 7. コンピューターを活用する力 | 8. 英会話力 |
| 9. 道徳や思いやりの心 | 10. 規範（モラル、社会のマナーやルール）意識 |
| 11. 特にない | |
| 12. その他（具体的に
） | |

問6 お子さんが通う小学校について、次の各項目についての満足度をおうかがいします。

次の各項目において、「たいへん満足」「おおむね満足」「満足していない」からそれぞれ1つだけ○をつけてください。

項目	たいへん 満足	おおむね 満足	満足して いない
1. 基礎学力を身につけるための指導	1	2	3
2. 周りの人との関係をうまく作る力を養うための指導	1	2	3
3. 相手に自分の考えを伝える力を養うための指導	1	2	3
4. 障がいのある児童に対する特別支援教育	1	2	3
5. 外国の歴史や文化などへの理解を深める国際理解教育	1	2	3
6. コンピューターを使ったり、情報を読み解く力をつけるための情報教育	1	2	3
7. 運動能力や体力を高めるための指導	1	2	3
8. 音楽鑑賞・美術鑑賞	1	2	3
9. 読書を楽しむ力を養うための指導	1	2	3
10. 道徳や思いやりの心を教えること	1	2	3
11. 社会のマナーやルールを教えること	1	2	3
12. いじめの防止や対応策	1	2	3
13. 国や地域の伝統文化を教えること	1	2	3



お子さんの放課後等の過ごし方についておうかがいします。

問7 お子さんは、平日の放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用している時間も（　）内に数字でご記入いただき、土曜日の利用状況もお答えください。時間は必ず（例）17時のように、24時間制でご記入ください。

過ごしている場所	週当たり日数等
1. 自宅	週（　　）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい
4. 児童館	週（　　）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）*	週（　　）日くらい ⇒下校時から（　　）時まで（　　）時間 ⇒うち土曜日の利用 1. ある 2. ない
6. その他（公民館、公園など）	週（　　）日くらい



*放課後児童クラブ（学童保育）とは、保護者が就労等により屋間家庭にいない場合などに、子どもの生活の場を提供する事業です。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。木津川市には、現在、各小学校あるいは小学校付近に19か所設置されています。

問8 問7で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方におうかがいします。該当しない方は問9へお進みください。

(1) 放課後児童クラブ（学童保育）を利用しているのは、主にどのような理由ですか。（1つだけ○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている保護者が、

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 現在就労している | 2. 就労予定がある |
| 3. 家族・親族などを介護している | 4. 病気や障がいがある |
| 5. 学生である | 6. その他（具体的に　　） |

(2) お子さんが何年生まで放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいですか。（1つだけ○）

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. 1年生のみ | 2. 2年生まで | 3. 3年生まで |
| 4. 4年生まで | 5. 5年生まで | 6. 6年生まで |
| 7. わからない・未定 | | |

(3) 放課後児童クラブ（学童保育）に対してどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 定員を増やしてほしい | 2. 利用時間を延長してほしい |
| 3. 日曜日・祝日も開いてほしい | 4. 施設・設備を改善してほしい |
| 5. クラブ活動を実施してほしい | 6. 勉強や習い事を教えてほしい |
| 7. 保育所や幼稚園でも開設してほしい | |
| 8. 現在のままでよい | |
| 9. その他（具体的に　　） | |

★次は問10へお進みください。

問9 **問7で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」を選ばれなかつた方におうかがいします。**

放課後児童クラブを利用してない主な理由をお答えください。（1つだけ○）

お子さんの身の回りの世話を主にしている保護者が、

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブ（学童保育）を知らなかつたから
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブ（学童保育）がないから
4. 就労しているが、放課後児童クラブ（学童保育）に空きがないから
5. 就労しているが、放課後児童クラブ（学童保育）の開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他（具体的に)

問10 **すべての方におうかがいします。**

お子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいとお考えですか。低学年の期間、高学年の期間に分けて、平日、土曜日、日曜日、夏休みや冬休みなど長期休業それぞれについて、利用意向と利用したい日数、回数、時間帯をそれぞれ数字でご記入ください。

時間帯は必ず（例）10時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 低学年（1～3年生）の期間

※お子さんが高学年の場合は、(2)へお進みください。

曜日等	利用意向
平 日	1. 利用したい ⇒ 週当たり () 日利用 下校時～() 時まで 2. 利用希望はない
土曜日	1. 利用したい ⇒ 月当たり () 回利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない
日曜日	1. 利用したい ⇒ 月当たり () 回利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない
夏休みや 冬休みなど 長期休業	1. 利用したい ⇒ 週当たり () 日利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない

(2) 高学年（4～6年生）の期間

曜日等	利用意向
平 日	1. 利用したい ⇒ 週当たり () 日利用 下校時～() 時まで 2. 利用希望はない
土曜日	1. 利用したい ⇒ 月当たり () 回利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない
日曜日	1. 利用したい ⇒ 月当たり () 回利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない
夏休みや 冬休みなど 長期休業	1. 利用したい ⇒ 週当たり () 日利用 () 時～() 時まで 2. 利用希望はない

お子さんの病気の際の対応についておうかがいします。

問11 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。(どちらかに○)

1. あった ⇒問11-1へ

2. なかった ⇒問12へ

問11-1 お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合、この1年間に行った対応として、あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字で（　）にご記入ください。（半日程度の対応も1日としてください。）

1年間の対処方法	年間の日数	
1. 母親が休んだ	(　　) 日	⇒問11-2へ
2. 父親が休んだ	(　　) 日	
3. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	(　　) 日	
4. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	(　　) 日	
5. 病児・病後児保育※を利用した	(　　) 日	
6. ベビーシッターを利用した	(　　) 日	
7. やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	(　　) 日	
8. その他(具体的に)	(　　) 日	

※「病児・病後児保育」とは、急な病気で保育所や幼稚園などが利用できないお子さんを一時的に預かり保育・看護する事業で、木津川市では京都山城総合医療センターと共同で運営しています。

問11-2 問11-1で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」に○をつけた方におうかがいします。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。どちらかの番号に○をつけ、日数についても（　）内に数字でご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ (　　) 日 ⇒問11-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒問11-4へ

問11-3 問11-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

子どもを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 小児科に併設したもの
2. 他の施設(例: 幼稚園・保育所等)に併設したもの
3. 地域住民等が保育するもの(例: ファミリー・サポート・センター等)
4. その他(具体的に
　　)

★次は問12へお進みください。

問11-4 問11-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方におうかがいします。

利用したいと思わないのは、どのような理由ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 親が仕事を休んでみるのが当然と思うから
2. 親が休むことができるから
3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
4. サービスの質に不安がある
5. サービスの利便性（立地や利用時間など）がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料や利用方法がわからない
8. その他（具体的に)

お子さんの宿泊を伴う一時預かり等の利用についておうかがいします。

問12 この1年間に、お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無についてあてはまる番号に○をつけてください。利用したい場合は、目的別の内訳、あてはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も（　）内に数字でご記入ください。

事業の利用	利用目的	年間の泊数
1. 利用したい	ア. 冠婚葬祭	(　　) 泊
	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	(　　) 泊
	ウ. 保護者や家族の病気	(　　) 泊
	エ. その他（具体的に)	(　　) 泊
2. 利用する必要はない		

子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします。

問13 お子さんの子育てに、大きく影響すると思われる環境はどこだと思いますか。

（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|--------|----------|---------------|-------------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 | 4. 放課後児童クラブ（学童保育） |
| 5. 学習塾 | 6. 習い事の場 | 7. その他（具体的に) | |

問14 子育てについて、あなたのお気持ちに一番近いものをお答えください。（1つだけ○）

- | | | |
|-------------------|--------|------------------|
| 1. とても楽しい | 2. 楽しい | 3. 少し不安または負担を感じる |
| 4. とても不安または負担を感じる | | 5. どちらともいえない |

問15 子育てで日頃悩んでいることや不安に感じることはどのようなことですか。お子さんのこと、保護者自身のこと、それについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【お子さんのこと】

- | | | |
|---------------------|----------------------|------------------|
| 1. 病気や発育・発達 | 2. 食事や栄養 | 3. 育児の方法 |
| 4. 子どもとの時間がとれない | 5. 子どもとの接し方 | 6. 子どもの教育や将来の教育費 |
| 7. 友だちづきあい(いじめ等を含む) | 8. 登校拒否・不登校 | |
| 9. 子どもの生活リズムが乱れている | 10. 特に悩みや不安に感じることはない | |
| 11. その他(具体的に) | | |

【保護者自身のこと】

- | | |
|---|-----------------------|
| 12. 仕事や自分のやりたいことができない | 13. 配偶者・パートナーの協力が少ない |
| 14. 話し相手や相談相手、協力者がいない | 15. 保護者同士の交流・つきあいが難しい |
| 16. 子どもを叱りすぎているような気がする | 17. 家族の中での子育て方針の違い |
| 18. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまう | |
| 19. 地域の子育て支援サービス※の内容や利用・申し込み方法がよくわからない | |
| 20. 住居が狭い | 21. 特に悩みや不安に感じることはない |
| 22. その他(具体的に) | |

※地域の子育て支援サービスとは、放課後児童クラブやファミリー・サポート・センターなどの事業のことです。

ファミリー・サポート・センターは、木津川市社会福祉協議会に委託しており、地域住民の会員制による子どもを預けたり預かったりする事業です。

問16 子育てに関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。(1つだけ○)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 相談できる人・場所がある | ⇒問16-1へ |
| 2. 相談できる人・場所はない | ⇒問16-2へ |
| 3. 相談することはない | ⇒問17へ |

問16-1 問16で「1. 相談できる人・場所がある」に○をつけた方におうかがいします。それはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------------------------|-------------|-----------------|
| 1. 親や家族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育てサークル・NPO・子育て支援施設(児童館等) | | |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 小学校 | 7. 習い事・塾 |
| 8. 民生委員・児童委員 | 9. かかりつけの医師 | 10. 市の子育て関連担当窓口 |
| 11. 母子父子自立支援員 | 12. 児童相談所 | 13. 民間の電話相談 |
| 14. その他(具体的に) | | |

問16-2 問16で「2. 相談できる人・場所はない」に○をつけた方におうかがいします。相談できる人・場所がないのは、どのような理由ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 人づきあいが苦手だから | 2. 外に出るのが好きではない |
| 3. 他人に子どものことをあれこれ言われたくない | 4. 誰に相談していいのかわからない |
| 5. 祖父母やきょうだいなどとあまりつきあいがない | 6. 木津川市に引っ越してきて間がない |
| 7. その他(具体的に) | |

問17 すべての方におうかがいします。

あなたのご家庭では、ご近所や地域の方々との付き合いはどうですか。（1つだけ○）

- | | | |
|--------------------------|------------------|--------------|
| 1. 親しい | 2. 付き合いがあり、やや親しい | 3. 少々付き合いがある |
| 4. 付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度 | 5. ない | |

問18 お子さんは、次のような活動へ参加していますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|------------------------|------------------|------------|
| 1. 子育て支援サークル活動 | 2. スポーツ活動 | 3. 文化・音楽活動 |
| 4. キャンプ等の野外活動 | 5. 子ども会等の青少年団体活動 | |
| 6. リサイクル等の環境分野での社会貢献活動 | | |
| 7. その他の活動（具体的に
） | | |

問19 お子さんの休日や夜間の急な発熱などの急病時には、どのように対応していますか。（1つだけ○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 休日救急診療所※1 | 2. かかりつけ医 |
| 3. 電話相談※2 | 4. 受診できる医療機関を知らない |
| 5. その他（具体的に
） | |

*¹ 木津川市を含む相楽広域行政組合において、木津川市の相楽会館内1階に「相楽休日応急診療所」を開設しています。

*² 京都府では、看護師または小児科医師が電話相談に対応する「小児救急電話相談事業」を実施しています。相談対象は、府内に住む15歳未満の子ども及びその家族等で、年中無休です。

相談時間は午後7時から翌朝8時まで、土曜日は午後3時から翌朝8時までです。

利用方法は、固定・携帯電話から、全国統一番号の【#8000】番で利用できます。

問20 次の1～14の事業を知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いますか。（それぞれについて、あてはまるものすべてに○）

事業名	知っている ものに○	利用したこと があるものに○	今後利用した いものに○
1. 病児・病後児保育室「おひさま」	1	1	1
2. 公民館や図書館、交流会館での親子対象の交流等活動	2	2	2
3. 教育相談センター・木津川市カウンセリングルーム	3	3	3
4. 木津川市教育支援センター「キッズふれあい教室」	4	4	4
5. 子育て世代包括支援センター宝箱※	5	5	5
6. 家庭児童相談室・子育ていきいきサポート窓口	6	6	6
7. 市が提供する子育て情報 (子育て応援サイト きづがわいい)	7	7	7
8. 子育て短期支援事業	8	8	8
9. 地方通級指導教室「ことばの教室」	9	9	9
10. ひとり親家庭医療費助成制度	10	10	10
11. 児童館の体験学習・講座	11	11	11
12. 京都府こども発達支援センター	12	12	12
13. 京都府家庭支援総合センター	13	13	13
14. ファミリー・サポート・センター事業	14	14	14

* 「子育て世代包括支援センター」とは、妊娠期から子育て期までを安心して過ごせるようサポートする事業です。

問21 次の環境等について、子どもにとって必要であると思いますか。(それぞれについて、1つだけ○)

項目	必要である	できれば与えられた方がよい	必要でない
1. 1日3度（朝・昼・夕）の食事	1	2	3
2. 必要なときに病院・診療所に行く	1	2	3
3. 季節にあった衣服	1	2	3
4. おこづかい	1	2	3
5. 希望すれば大学等への進学	1	2	3

問21-1 次の環境等について、あなたの家庭では経済的理由によりお子さんに与えられていないものや与えられそうにないものがありますか。（それぞれについて、どちらかに○）

項目	与えられている (与えられる見込みである)	与えられていない (与えられそうにない)
1. 1日3度（朝・昼・夕）の食事	1	2
2. 必要なときに病院・診療所に行く	1	2
3. 季節にあった衣服	1	2
4. おこづかい	1	2
5. 希望すれば大学等への進学	1	2

問22 木津川市の子育て環境や支援への満足度について、5段階評価でお答えください。(1つだけ○)

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問22-1 満足度が高いところはどのような点ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 幼稚園や保育所・認定こども園の整備	2. 病児・病後児保育
3. 放課後児童クラブ（学童保育）	4. 子育てに関する情報提供
5. 子育てに関する相談体制	6. 子どもに対する医療体制
7. ひとり親家庭に対する支援	8. 障がいのある子どもへの子育て支援
9. 仕事と家庭生活の両立支援	10. 親子同士の交流の機会
11. 親子が楽しめる観劇・音楽会などの催し	12. 子育てに配慮された公共施設の整備
13. 子どもの遊び場の整備	14. 子どもを事故や犯罪から守る対策
15. 地域住民による子育て支援活動	16. 子育てにかかる経済的負担の軽減
17. わからない	18. 特にない
19. その他（具体的に)

問22-2 今後充実してほしいと思うところはどのような点ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 幼稚園や保育所・認定こども園の整備 | 2. 病児・病後児保育 |
| 3. 放課後児童クラブ（学童保育） | 4. 子育てに関する情報提供 |
| 5. 子育てに関する相談体制 | 6. 子どもに対する医療体制 |
| 7. ひとり親家庭に対する支援 | 8. 障がいのある子どもへの子育て支援 |
| 9. 仕事と家庭生活の両立支援 | 10. 親子同士の交流の機会 |
| 11. 親子が楽しめる観劇・音楽会などの催し | 12. 子育てに配慮された公共施設の整備 |
| 13. 子どもの遊び場の整備 | 14. 子どもを事故や犯罪から守る対策 |
| 15. 地域住民による子育て支援活動 | 16. 子育てにかかる経済的負担の軽減 |
| 17. わからない | 18. 特にない |
| 19. その他（具体的に |) |

問22-3 あなたにとって望ましい子育て支援施策は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 仕事と家庭の両立支援と働き方の見直しの促進 | 2. 子育てにおける経済的負担の軽減 |
| 3. 子育てのための安心・安全な環境整備 | 4. 地域における子育て支援 |
| 5. 妊娠・出産の支援 | 6. 若者の自立とたくましい子どもの育ちの推進 |
| 7. 健診など子どもの健康の支援 | |
| 8. 生命の大切さ、家庭の役割についての理解を促進させる施策 | 10. 特にない |
| 9. わからない | |
| 11. その他（具体的に |) |

問22-4 子育てに必要な施策などの情報をどのように入手されていますか。（あてはまるもの3つまで○）

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 市町村の広報やパンフレット | 2. 市の子育て関連担当窓口 |
| 3. インターネット（ホームページ、ブログ、ツイッター・フェイスブックなどのSNS） | |
| 4. 子育て雑誌・育児書 | 5. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 7. 隣近所・地域の人 | 8. 子育てサークルの仲間 |
| 10. 情報の入手先がない | 9. 保育所、幼稚園、学校 |
| | 11. 情報の入手手段がわからない |

■最後に、木津川市の子育て支援についてのご意見、ご提案などがありましたら、お書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れて、ご投函ください。

